

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書  
【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

木結(きづな)の家

グループの名称

やまがたの木づかい優良住宅をつくる会

直近採択グループ番号

06-0149-0111

(グループ代表者)

代表者名	松田 賢	代表者印
代表者所属先	株式会社スペースパーツ山形	
代表者所在地	山形県寒河江市中央工業団地155-6	
代表者電話番号	0237-83-3000	

(グループ事務局)

事務局事業者名	株式会社スペースパーツ山形	
事務局担当者名	安孫子 浩司	印
事務局郵便番号	991-0061	
事務局所在地	山形県寒河江市中央工業団地155-6	
事務局電話番号	0237-83-3000	
事務局FAX	0237-83-3030	
事務局担当者E-mail	material@sp-yamagata.co.jp	

1. 地域型住宅の名称(必須)	木結(きづな)の家
2. グループの名称(必須)	やまがたの木づかい優良住宅をつくる会
3. 直近採択グループ番号(必須)	06-0149-0111
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	山形県、宮城県、福島県
5. 結成年(必須)	2012 年
6. グループ代表者名(必須)	松田 賢
7. グループ代表者の所属先(必須)	株式会社スペースパーツ山形
8. グループ代表者所在地(必須)	山形県寒河江市中央工業団地155-6
9. グループ代表者電話番号(必須)	0237-83-3000
10. グループ事務局事業者名(必須)	株式会社スペースパーツ山形
11. グループ事務局担当者名(必須)	安孫子 浩司
12. グループ事務局郵便番号(必須)	991-0061
13. グループ事務局所在地(必須)	山形県寒河江市中央工業団地155-6
14. グループ事務局電話番号(必須)	0237-83-3000
15. グループ事務局FAX番号(必須)	0237-83-3030
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	material@sp-yamagata.co.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	9	原木供給事業者が海外事業者であるため
II. 製材・集成材製造・合板製造	16	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	3	
IV. プレカット	1	
V. 設計	41	
VI. 施工	38	
VII. 木材を扱わない流通	0	
VIII. I～VII以外の業種	0	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外	
			番号記入欄			
<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FIPIC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明 <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明			※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1. 都道府県の産地認証制度等によるもの 2. 民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3. 林野庁作成の「木材・木製製品の合法性・持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)」に基づき合法性が証明されるもの 4. クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木製製品(合法伐採木材等証明)			
		国産材	3	国内		
		外材	3	国外		
		国産材	2	国内		
		外材	2	国外		
		国産材	2	国内		
		国産材	2	国内		
		外材	2	国外		
		国産材	2	国内		
		国産材	4	国内		
		外材	4	国外		
	やまがたの木	山形県	県産木材「やまがたの木」認証制度	1	国内	
やまがた県産材集成材	山形県	県産木材「やまがたの木」認証制度のうち県産集成材	1	国内		

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世帯同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		30	戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	30	戸			
					上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	6	戸			
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		8	戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実に(上限20万円)	8	戸			
					上記の内、三世帯同居加算の申請が確実に(上限30万円)	3	戸			
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		30	戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	30	戸			
					上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	5	戸			
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		10	戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実に(上限20万円)	10	戸			
					上記の内、三世帯同居加算の申請が確実に(上限30万円)	1	戸			
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		5	戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	5	戸			
					上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		1	戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実に(上限20万円)	1	戸			
					上記の内、三世帯同居加算の申請が確実に(上限30万円)	0	戸			
		高度省エネ型	認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		5	戸		
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	5	戸		
						上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		2	戸		
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実に(上限20万円)	2	戸		
						上記の内、三世帯同居加算の申請が確実に(上限30万円)	0	戸		
高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		5	戸				
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	5	戸				
				上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		3	戸				
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実に(上限20万円)	3	戸				
				上記の内、三世帯同居加算の申請が確実に(上限30万円)	0	戸				
	高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		5	戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	5	戸			
					上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		3	戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実に(上限20万円)	3	戸			
					上記の内、三世帯同居加算の申請が確実に(上限30万円)	0	戸			
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		5	戸				
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	5	戸				
				上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		1	戸				
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実に(上限20万円)	1	戸				
				上記の内、三世帯同居加算の申請が確実に(上限30万円)	0	戸				
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		5	戸				
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	5	戸				
				上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		1	戸				
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実に(上限20万円)	1	戸				
				上記の内、三世帯同居加算の申請が確実に(上限30万円)	0	戸				
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		0	棟				
					0	m <sup>2</sup>				
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		0	棟				
					0	m <sup>2</sup>				
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)										
E. 平成29年度の執行状況(必須)										
長寿命型(長期優良住宅)										
		採択戸数	18	戸	交付申請戸数	10	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	10	戸
高度省エネ型(認定低炭素住宅)										
		採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)										
		採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)										
		採択戸数	3	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
優良建築物型										
		採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸
		採択床面積	0	m <sup>2</sup>	交付申請床面積	0	m <sup>2</sup>	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m <sup>2</sup>









グループ構成員に設計事業者を含まない場合、その理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省工不講習済	省工不講習予定
V. 設計							○	○
6	V - 22	株式会社スペースパーツ山形		991-0061	山形県寒河江市中央工業団地155-6	0237-83-3000	○	
6	V - 23	星野建築設計事務所		990-2374	山形県山形市大字古館24	023-666-6162	○	
6	V - 24	真千建築計画室		990-2413	山形県山形市南原町2-5-62-8	023-632-5880	○	
6	V - 25	Kei建築設計室		990-2413	山形県山形市南原町2-5-62-8	023-625-3207	○	
6	V - 27	十和建設株式会社		997-0802	山形県鶴岡市伊勢原町25-2	0235-23-1282	○	
6	V - 28	羽山総合建設株式会社		999-2174	山形県東置賜郡高畠町大字福沢1670-7	0238-58-0555	○	
6	V - 29	有限会社トータルハウジング夢空間		997-0838	山形県鶴岡市澁川町20-5	0235-26-2373	○	
6	V - 30	廣居建設株式会社		992-0045	山形県米沢市中央6-1-186	0238-23-4322	○	
6	V - 31	我妻建設工業株式会社		992-0042	山形県米沢市塩井町塩野2012-1	0238-23-7130	○	
7	V - 32	株式会社泉製材所		960-8253	福島県福島市泉字二斗藤18	024-557-4886		○
6	V - 33	佐藤工匠		990-0522	山形県寒河江市大字清助新田60-1	0237-87-3084	○	
6	V - 34	有限会社渡辺工務店		995-0005	山形県村山市大字たも山4600-101	0237-55-7245	○	
6	V - 35	株式会社齋藤工務店		995-0205	山形県村山市大字檜石44	0237-56-2334		○
6	V - 36	有限会社北國の家		990-0891	山形県山形市成安615	023-684-1824	○	
6	V - 37	有限会社阿部工務店		999-3719	山形県東根市中央西6番26号	0237-46-4807		○
6	V - 38	結城建築		995-0041	山形県村山市大字河島甲91-11	0237-55-5816		○
6	V - 39	山科建築		999-4101	山形県北村山郡大石田町鷹巣125	0237-35-4503		○
6	V - 40	三瓶建設		999-3729	山形県東根市中央東1-9-5	0237-42-0400	○	
6	V - 41	有限会社中村建築		999-3103	山形県上山市金谷77-1	023-672-4420	○	
6	V - 42	株式会社ハート・コーポレーション		990-0810	山形県山形市馬見ヶ崎3-22-1	023-682-8123	○	
6	V - 43	有限会社 武田建築		990-0863	山形県山形市江南三丁目12-7	023-684-1088	○	
6	V - 44	結城建築		990-2422	山形県山形市中桜田3丁目8-5	023-632-7028		○
6	V - 45	有限会社グッドライフ黒田工務所		991-0061	山形県寒河江市中央工業団地173	0237-86-1008	○	
6	V - 46	丸櫻建成株式会社		994-0075	山形県天童市大字蔵増乙539-1	023-654-5285	○	
6	V - 47	有限会社松田宅建センター		990-0863	山形県山形市江南4-14-16	023-682-7452	○	
6	V - 48	浪波工務店		999-3716	山形県東根市大字蟹沢534	0237-43-3870		○
6	V - 49	奥山建設株式会社		999-3716	山形県東根市大字蟹沢字下縄目1863-12	0237-42-0116	○	
6	V - 50	大東建設株式会社		990-1442	山形県西村山郡朝日町宮宿777-1	0237-67-3101	○	
6	V - 51	株式会社 建北社		995-0033	山形県村山市橋岡新町1丁目16-3	0237-55-4511	○	
6	V - 52	建築佐藤		991-0031	山形県寒河江市本町3-3-12	0237-86-5573	○	
6	V - 53	株式会社石川製材所		995-0112	山形県村山市大字湯野沢506	0237-54-2315	○	
6	V - 54	ピーデザイン		990-0823	山形県山形市下条町一丁目2番10号	080-5916-3656		○
6	V - 55	株式会社田中工務店		990-2421	山形県山形市上桜田84-9	023-641-0782		○
6	V - 56	伊藤工務店有限会社		999-3736	山形県東根市神町営団南通り2	0237-47-3645		○
6	V - 57	有限会社 西尾工務店		994-0011	山形県天童市北久野本5丁目6-14-1	023-654-1354	○	
6	V - 58	株式会社結設計工房		991-0054	山形県寒河江市仲谷地1-3-4	0237-85-0202	○	
6	V - 59	板垣建築		995-0052	山形県村山市大字名取1440-1	0237-55-4586		○
6	V - 60	株式会社山匠エコシステム		991-0053	山形県寒河江市元町3-18-15	0237-86-8431	○	
6	V - 61	株式会社鎌田工務店		990-2461	山形県山形市南館2-5-2	023-644-5812	○	
6	V - 62	眞壁建築		991-0041	山形県寒河江市大字寒河江字鶴田60-1	0237-86-6246	○	













1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 木結(きづな)の家	(地域型住宅供給対象地域) 山形県、宮城県、福島県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) やまがたの木づかい優良住宅をつくる会	(結成年) 2012 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0149-0111	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	寒冷地であるため省エネ性能の重要度が高いため、平成28年度省エネルギー基準における外皮性能に関する基準に適合した住宅とする。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	質の高い大工職人が多い南東北の特色を活かし、木造軸組工法とする。 積雪地であるため、積雪荷重を考慮して応力計算またはスパン表による耐震等級の確保を行う。 引続き地震に備え、地質に応じた地盤調査を実施する。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	木材産地であることを配慮して、フロア・内壁・天井・梁表し・外壁・カウンターなどの木のぬくもりを感じる内外装木質化に取り組む。	○
④①～③の背景	山形、宮城、福島は互いに経済圏が近接し、交通事情にも恵まれており往来も盛んであるため南東北というユニットが構成しやすい。山脈に囲まれ広範囲が盆地のため、夏は暑く冬は寒い寒暖にの差が激しい地域であり、豪雪地帯も多い。杉や桧の産地として森林資源に恵まれ自然豊かな地域である。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	グループ運営と情報共有のために、物件毎の打合せ進捗状況や工程(契約、着工、引渡し)等の情報管理を事務局で行う。 地域に根ざしたグループとしての認知度向上のために、現場見学会や合同イベント時には会のホームページ情報に掲載し、会のチラシやのぼり旗を活用する。	◎

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域材の選定に際し、常に情報収集を行いながら、安定供給や品質・コストの面で最適な規格の地域材を在庫・供給できるグループ体制を構築している。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: グループで提携している多数の建材メーカーとグループ共通資材を設定し、建材仕様の統一化をはかっている	○
①-3 標準仕様の設定	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
②-1 建材・資材調達の見直し	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: グループ共通資材についてグループ合同のキャンペーンや展示会を実施し、各施工業者が共通資材を採用することにより、流通事業者が一括して在庫することができ、スケールメリットを構築してコスト削減をはかっている。	◎
②-2 調達事務の合理化	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 役員会にてグループ共通資材や標準仕様の検討会を行い、構成員への提案を行っている。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地域材供給事業者の生産状況や施工業者の物件情報、現場進捗状況、採用資材などを把握し、役員会にて報告と合理化の提案を行う。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 断熱・気密の施工に関して、住宅省エネルギー技術講習会(施工編)のテキストによる施工方法を指針とする。	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅あんしん保証の「あんしん検査」(長期優良住宅、認定低炭素住宅)を利用し、第三者による現場検査で設計図書通りに認定基準を満たした施工を行っていることを確認することで信頼性向上を図る。	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 工事項目内訳書の工事項目を消費者に分かりやすく統一化し、共通見積りフォーマットや積算システムなどを整備する。	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 万が一構成員が倒産した場合、工事の再開に時間がかかるほか、着工金等の過払い金の払い戻しが困難となる可能性が高い。そのような消費者の不安を払拭して信頼性向上に繋げるべく、消費者保護のための「完成保証」を付保できるように体制整備を図る。	○
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内職人による若手職人育成を目的とした昇進制度への取り組みを周知する。	○
③ 社会保険への加入	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局にて現場の安全に関する情報等の定期的な発信をする。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 木結(きづな)の家	(地域型住宅供給対象地域) 山形県、宮城県、福島県	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) やまがたの木づかい優良住宅をつくる会	(結成年) 2012年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0149-0111		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 住宅蓄積情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ共通の維持保全計画書(30年間)をベースとし、住宅個々の特性に応じた必要項目を加筆修正の上使用する	○
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 一般社団法人全国住宅産業地域活性化協議会が発行する「維持管理の考え方とガイドライン」をメンテナンスの指針とする。	○
		②-2 補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 一般社団法人全国住宅産業地域活性化協議会が発行する「リフォームマニュアル」、「リフォーム工事施工技術指針」を補修・リフォームの指針とする。	○
		②-3 点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 「あんしんいえかるて」に点検履歴を蓄積。	○
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ合同のOB集客イベントで住宅メンテナンスの説明会を年1回実施。	◎
		③-2 DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ合同のOB集客イベントで木工教室を年1回実施。	◎
		③-3 その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ合同のOB集客イベントで住まいの合同相談会を年1回実施。	◎
	④ 維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 役員会にて仕様やメンテナンス・維持管理の方法などの意見交換をする検討会を行い、構成員への提案を行う。	◎	
	⑤ その他の維持管理の手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 「あんしんいえかるて」の経過年数告知サービスによる点検の督促。	○	
	b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループのホームページで組織の見える化や事務局連絡先を明示し、消費者の相談窓口を明確している。倒産廃業工務店の維持保全計画をグループ内で引継ぎ、当該住宅の施主から修繕	◎
② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅あんしん保証(住宅瑕疵担保責任保険法人)による、全国の重大な瑕疵事例や防止ポイントの勉強会を開催		◎	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	一般社団法人全国住宅産業地域活性化協議会のコンテンツである「暮らしのサポートサービス」を利用し、施主の暮らしに関する困りごとやトラブルを24時間365日のコールセンターと駆け付け業者でサポートする。		○
エ. グループの技術力の向上			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 未経験工務店向けに、長期優良住宅の各基準、営業時に必要な各種認定制度の概要や税制優遇の内容、フラット35Sの基準と活用、性能部材の現場施工等に関して研修会を実施。	◎	
	②-1 品質管理のための共通ルール <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
	③-1 需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工事業者の工事工程をグループで取りまとめ、地域材・建材の供給事業者必要に応じた生産計画、調達計画を行う。	○	
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 東日本大震災やオリンピックに伴い、大工等の職人不足が深刻化している。グループ内の需給計画をもとに構成員相互に協力体制を構築する。	○	
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 職人不足が深刻な業種をグループ内で組織化し、仕様や施工の統一化を通して施工品質の伴う協力体制の更なる促進をはかる。	○	
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 70 今年度の参加目標人数 20	○	
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 6 今年度の参加目標人数 20	○	
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 未受講者を含め施工編と設計編の両方の受講を促し、特に施工編は請負技能者にも案内する。講習会の地域事務局(山形県省エネ木造住宅推進協議会)と連携しチラシを配布する。	◎	
c	① 新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 職人不足の深刻化を見据え、建方時の人工を削減し精度を均一化することをベースとし、省エネルギー性能の確保等にも配慮した金物工法を検討・検証していく。	○	
	② 新たな技術等の開発 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: プレカット工場内での試作開発、構成員の実物件によるモニター対応、新工法モデルハウス等による各データの収集を行う。	○	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	住宅関連施策の情報提供や研修会を適宜行い、構成員の技術力向上に向けたフォローを行う。設計構成員による設計サポートチームが、長期優良住宅や低炭素住宅・建築物、ゼロ・エネルギー住宅の申請サポート業務やH28年省エネ基準における外皮面積・性能計算等のサポートができる体制を整えており、未経験工務店等への個別サポートに注力する。		◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。







1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 木結(きづな)の家	(地域型住宅供給対象地域) 山形県、宮城県、福島県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) やまがたの木づかい優良住宅をつくる会	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0149-0111	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

【高度省エネ型(認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅)共通 省エネ設計指針】

高度省エネ型に関してはいずれも未経験構成員が多いため、各基準の達成手法は任意とすることで取組みやすくし、未経験構成員の活用を促進する。

ゼロ・エネルギー住宅のグループモデルプランをベースに、高度省エネ型共通の省エネ設計指針を下記の通り策定した。

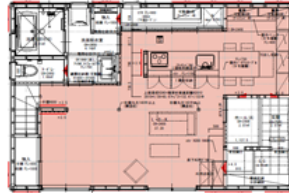
具体例を参考にすることで、未経験構成員が取組みのイメージを持てるようにした。また設計構成員による設計サポートチームが長期優良住宅や認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅・ゼロ・エネルギー住宅の申請サポート業務や平成28年省エネ基準における性能計算等のサポートができる体制を整備、未経験構成員への個別サポートにも注力する。

■省エネ設計指針

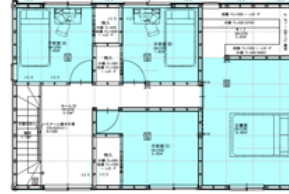
- ・シンプルな四角形の間取りで外壁面積を少なくし熱損失を抑える。
- ・通風を考慮した壁や開口の配置とし、開口はなるべく高い位置に設ける。
- ・サッシは気密性が高く、すべり出し窓等を多用する。
- ・軒を深く、又は庇を設けて日射侵入を軽減する。
- ・南側に落葉樹を配置し夏季の日射遮蔽と冬季の日射取得を配慮。北側には常緑樹を配置し夏季は葉散作用による涼風の取り込みを配慮。
- ・太陽光パネルによる降雪の変化を考慮した降雪スペースの確保。
- ・認定低炭素住宅等で太陽光設置をしない住宅であっても、屋根形状は将来の追加設置を配慮。

■構造の検討

- ・積雪荷重に加え、太陽光パネルの荷重を考慮した構造・間取りとする。



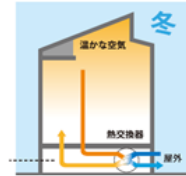
1階平面図



2階平面図

■省エネ設備の選定(モデルプランの場合)

- ・換気は床下設置タイプの熱交換型第一種換気を採用。
- ・四季を通じ安定した気温が見込める地熱も有効活用。
- ・暖冷房は高効率ルームエアコンディショナーを採用。
- ・給湯は電気ヒートポンプ給湯機を採用。
- ・照明は白熱灯を使用しない。調光制御やセンサーを採用。



換気設備のイメージ

【ゼロ・エネルギー住宅について】

- ・3地域と4地域で申請。いずれもRを100%、R0を25%に設定することで未経験構成員も取組みやすくなった。
- ・平成28年度より外皮性能を最重視し、ZEH外皮強化基準をグループとし、UA値は省エネルギー基準を超える基準を設定した。
- ・平成28年省エネ基準を採用しBELS認証による評価とするため、改めて説明会を実施する。又グループ目標としてランクアップ外皮平均熱貫流率の3地域・4地域、0.40以下のUA値を目指し、当グループ設計事業者内での定期的な検討会を行い、未経験構成員が理解し活用しやすい体制をつくる。

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。